

9-3 西南日本における短期的スロースリップイベント

(2020 年 11 月～2021 年 4 月)

**Short-term slow slip events with non-volcanic tremor in southwest Japan
(November 2020-April 2021)**

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience

2020 年 11 月から 2021 年 4 月にかけて西南日本の深部低周波微動¹⁾に同期して発生した短期的スロースリップイベント^{2,3)}(SSE)について報告する。第 1 図に今回報告する SSE をまとめた。これまでのイベントの履歴については、連絡会報¹⁾を参照されたい。

(1) 2021 年 1 月 四国中西部

2021 年 1 月 12 日～23 日に四国中西部の観測点で、深部低周波微動と同期した SSE による傾斜変化がとらえられた(第 2 図)。傾斜変化ベクトル、データから推定された SSE の矩形断層モデル、モデルから計算される傾斜変化ベクトルを第 3 図に示した。1 月 21 日頃から傾斜変動の変化率が増大したため、12 日～20 日と 21 日～23 日の 2 期間に分けて断層モデルを推定した。2 つの期間の SSE の規模はともに Mw6.0 で、合計 Mw 6.2 に推定された。SSE のすべり域は同期間に発生した微動および超低周波地震⁵⁾(VLFE)の震央位置とよく一致している。2020 年 7 月～8 月に同地域で Mw 6.3 の短期的 SSE が発生している⁶⁾。

(木村 武志)

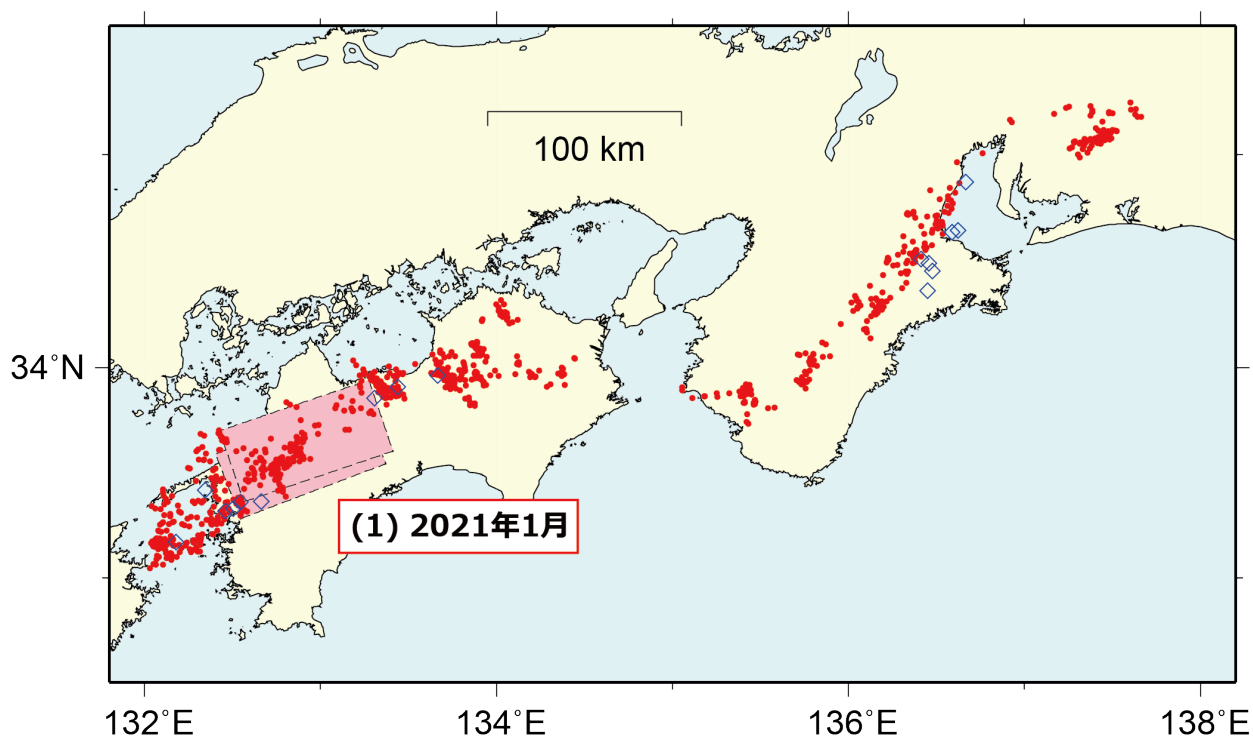
KIMURA Takeshi

謝辞

気象庁のホームページで公開されている気象台等の気象観測データを使用させていただきました。記して感謝いたします。

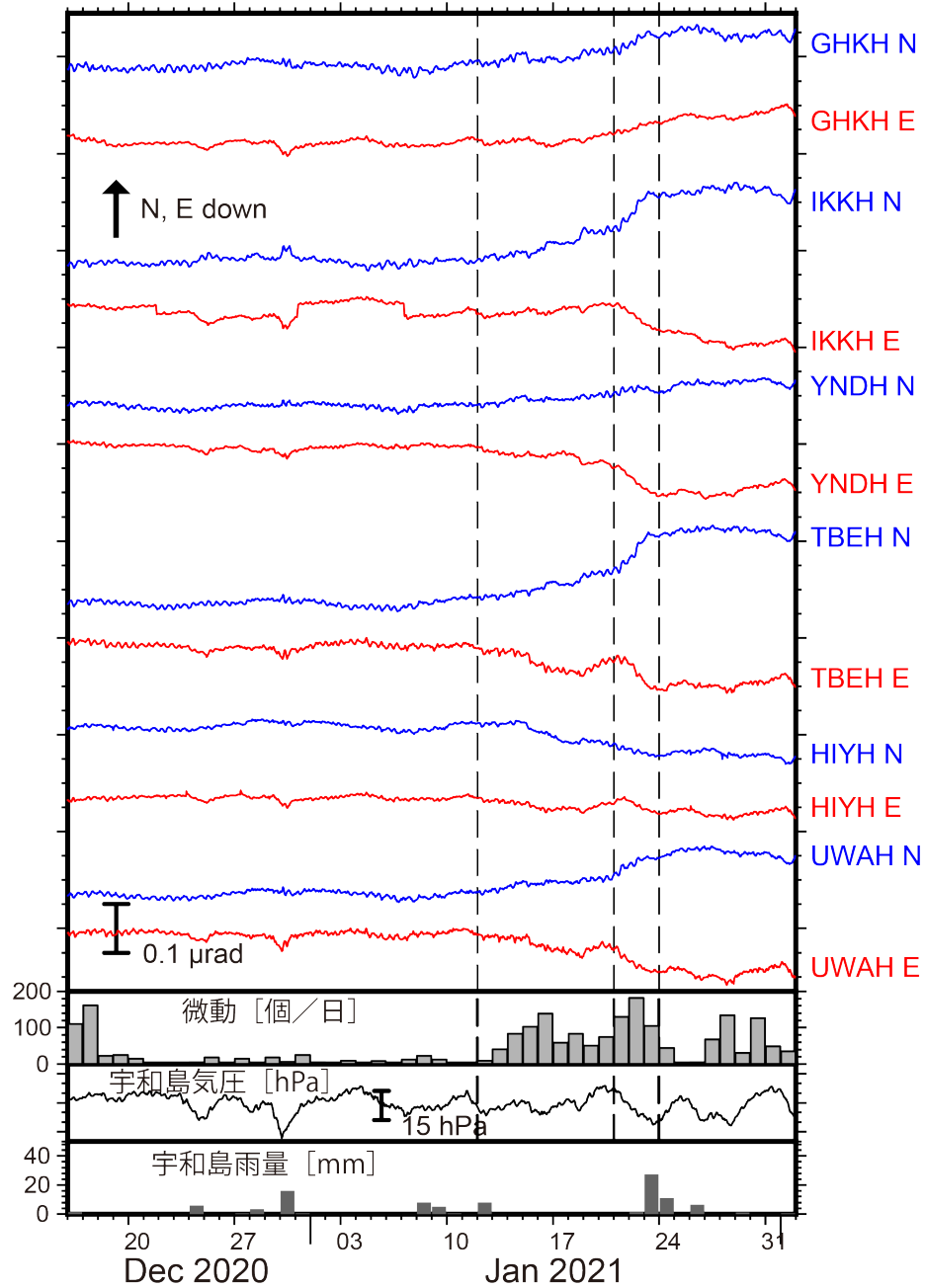
参考文献

- 1) 防災科学技術研究所 (2021), 予知連会報, 本号.
- 2) Obara et al. (2004), *Geophys. Res. Lett.*, **31** (23), doi:10.1029/2004GL020848.
- 3) Hirose and Obara (2005), *Earth Planets Space*, **57** (10), 961-972.
- 4) Tamura et al. (1991), *Geophys. J. Int.*, **104**, 507-516.
- 5) Ito et al. (2007), *Science*, **315**, 503-506.
- 6) 防災科学技術研究所 (2021), 予知連会報, **105**, 414-419.



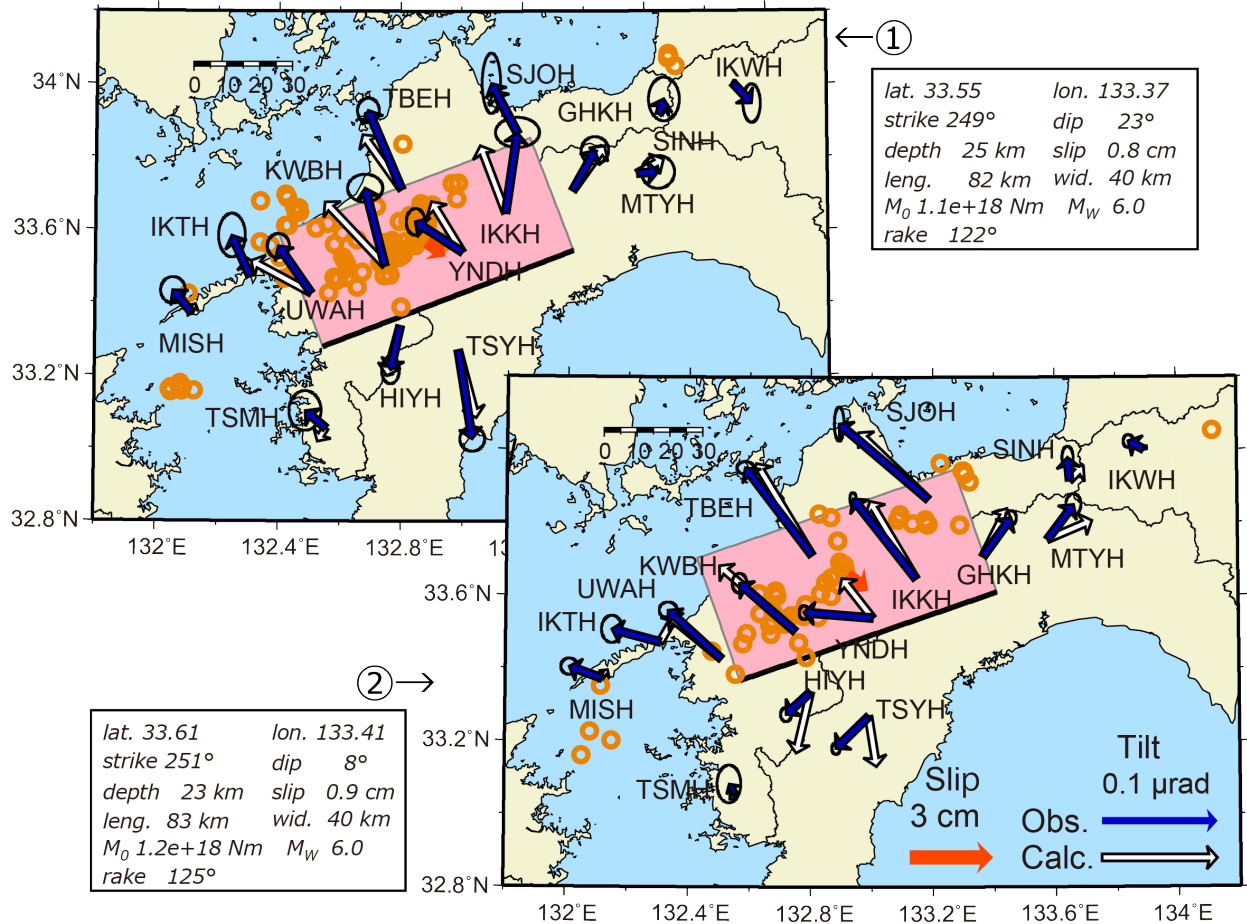
第 1 図 2020 年 11 月 1 日～2021 年 4 月 30 日の期間に検知された短期的 SSE (ピンク矩形). 同期間に発生した深部低周波微動 (赤点) 及び VLFE の震央 (青菱形) を重ねて表示した.

Fig. 1 Distribution of SSEs detected from November 1, 2020 to April 1, 2021. Red dots and blue diamonds show epicenters of tremors and VLFEs, respectively.



第 2 図 2020 年 12 月 16 日から 2021 年 2 月 1 日までの傾斜時系列。観測点位置は第 3 図に示した。記録は上方
 向への変化が北・東下がりの傾斜変動を表す。気圧応答・潮汐成分を BAYTAP-G⁴⁾ により除去し、直
 トレンドを補正した後の記録を示した。期間①②の傾斜変化量を SSE によるものと仮定した。四国中西
 部での微動活動度・気象庁宇和島観測点での気圧変化および雨量をあわせて表示した。

Fig. 2 Time series of tiltmeter records, daily tremor counts, atmospheric pressure change and daily precipitation in the
 central and western Shikoku region from December 16, 2020 to February 1, 2021. 'N' and 'E' that follow a four-
 character station code denote the northward and eastward ground down tilt components, respectively. The tilt
 changes for the time windows indicated by the broken lines are assumed to be caused by an SSE. The atmospheric
 pressure and precipitation were observed at the JMA Uwajima meteorological observatory. The displayed tilt
 records are detided and their atmospheric pressure responses are corrected with BAYTAP-G⁴⁾.



第 3 図 2021 年 1 月四国西部の短期的 SSE の断層モデル。第 2 図の破線で示された期間に観測された傾斜変化ベクトル (青矢印)・このデータから推定された SSE の断層モデル (赤矩形・矢印)・モデルから計算される傾斜変化ベクトル (白抜き矢印) を示す。同じ期間の微動と深部超低周波地震の震央を橙円と茶星印で示した。

Fig. 3 Observed tilt change vectors for the time windows indicated Fig. 2 (blue arrows), the estimated fault slip (red arrow), rectangular fault location and geometry (pink rectangle) based on the tilt change vectors, and the calculated tilt changes due to the fault models (open arrows). Orange circles and stars show epicenters of the tremor activity and VLFs, respectively, occurred in the time periods.